# 「友松」の変遷 Ⅱ

2010.11.1　発行
シリーズ２−４
「友松」35 号

昭和28年11月3日　友松会報　第三五号

改選に當り
大四年卒　会長　小林梅茂

所感
大二年卒　副会長　桜井キン

御挨拶
大四年卒　副会長

御挨拶

児童に提灯を
客員　甲藤義治

友松會總會
◇日時　十一月二十二日(日)十時半から
◇場所　さくらポート
横浜市西区紅葉坂入口有側紅葉関隣　桜木町駅下車
市電紅葉坂下車　徒歩五分
一、会務報告
一、会長、名誉会長挨拶
一、永年勤務退職者に記念品贈呈
一、物故者に敬弔
一、来賓祝辞
一、会員談話
了つて宴会
余興　モダンダンス実演
◇行事
◇会費　会員金　四百円
◇出席申込　十一月二十日までに本部宛
◇これを総会の通知に代えます
⊙参考　会場のさくらポートは大七年卒尾上教雄君の経営であります。

昭和２８年１１月に発行された「友松」は、３５号記念号ともいえる。戦後８年経ち、世の中も安定してきたようである。会員数も８千名以上に達し、友松会の収入も６０万円を超えている。

この年の３月、学芸学部で初めての４年課程卒業生の卒業式が行われ、友松会から記念品が贈呈されている。

友松会の総会は、「さくらポート」（下記「友松」記事の写真）で開催され、会務報告、会長・名誉会長挨拶、永年勤務退職者記念品贈呈、物故者敬弔、来賓祝辞、会員談話、宴会等の次第が組まれ、余興としてモダンダンス実演があったようだ。（参考＝さくらポートは大正７年卒尾上教雄氏経営と記されている）

右の「友松」の紙面に「友松会厚生施設」と題した記事がある。「本会々員の要望により理事支部長合議の上、評議員会の決議を経て、会員の厚生施設の一端として、親切丁寧、秘密厳守を信条として昭和２８年１１月１日より実施いたします」とあり、厚生施設として法律相談部と結婚相談部が開設されたと書かれている。

友松会厚生施設
一、法律相談部
二、結婚相談部　開設
（総会の会場さくらポート）
本会々員多数の要望により理事支部長合議の上、評議員会の決議を経て、会員の厚生施設の一端として、親切丁寧、秘密厳守を信条として昭和二八年十一月一日より実施いたします。
◎法律　鑑定相談
◎結婚相談

友松会の事務所が、平沼の会館から教育会館内に移転されたことが読み取れる。また、大学の理科教育実験所（真鶴）の地鎮祭があったようだ。

他の記事としては、会務報告、会計報告、支部だより、文苑（短歌・俳句・詩等）、感想（会員の投稿）等が掲載されている。